



制度〈基本〉

運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

「長期・積立」なら、運用はこわくない!

運用を始めるときに、「いつ始めるのが良いの?」「今始めて良いのかな?」とタイミングが気になってしまう方も多いかもしれません。確定拠出年金での運用なら、自動的に積立投資ができます。積立投資であれば、運用を始めるタイミングをあまり気にする必要はありません。



右図の通り、日本の株価は大きな下落や上昇を繰り返しています。バブル崩壊前等の数値が高いところから運用を始めた場合、一括投資と積立投資の結果はどのようになったでしょうか。



高値で運用を開始した場合の一括投資と積立投資の違いをみましょう

①1989年12月(バブル崩壊前)に日本株式での運用を始め、今まで(33年2ヵ月)続けた場合



〈元本398万円に対し〉

一括の場合 約445万円 (12%増)
積立の場合 約828万円 (108%増)

②2007年6月(リーマンショック前)に日本株式での運用を始め、今まで(15年8ヵ月)続けた場合



〈元本188万円に対し〉

一括の場合 約292万円 (55%増)
積立の場合 約366万円 (95%増)

積立投資の場合、高値で始めても、長期で見ればしっかりと運用の成果が得られていることが分かります。これは、積立投資で毎月同じ金額で同じ商品を買うことで、「高値では少なく買い、安値ではたくさん買う」ことが自動的にできているからです。途中で値下がりしても、むしろ安く買えるチャンスととらえ、長期で投資し続けることが重要です。



確定拠出年金の各種お手続きの方法は「便利な手続き集」からご覧いただけます。

便利な手続き集はこちら



<https://www.resona-tb.co.jp/401k/pop/channel/process/>

2023年3月発行

りそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室
〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

りそな銀行 確定拠出年金コールセンター
☎ 0120-401-987+「2#」

本レターの無断引用・転載はお断りします。